



兵庫県西宮市のある農地、熱心に農作業をする学生らの姿。甲南大の学生らからなる「学生団体 Agrista」だ。「カッコいい農業を若者の手で」の目標を掲げ、農業と真剣に向き合っている。

「カッコいい農業」

vol.241 学生団体 Agrista



Agrista オリジナルの蜂蜜（右上）、稲刈りをするメンバーら（右下）
 (写真提供=学生団体 Agrista)

「作業は朝早いし、夏は暑い。それに、もうからない」と農業のマイナスイメージについて話す金子隆耶さん（甲南大・4年）。それでも「若者が農業に興味を持つように」と、2013年1月に金子さんが中心となって Agrista を結成した。現在は10人ほどで米や野菜、蜂蜜などを生産。種を植えてから収穫や販売まで、全て自分たちの手でやっている。パッケージのデザインや販売方法などから、「カッコいい農業」の実現を目指す。

Agrista として活動を始めるきっかけとなったのは、金子さんが参加した農業インターンだった。インターンでは、土を起すことから稲刈り、販売まで、1年を通して米作りを体験。実際に農業の現場を体験し、農家の人々と交流することの重要性を実感したという。同時に、

学生がつくる

実際の体験こそが今の学生に足りないことだと感じた。

いざ農業を始めてみると、苦労は絶えない。毎日の水やりは欠かせず、無農薬栽培を行っているため雑草も多い。さらに、せっかく生産しても売り切れずに廃棄してしまったこともあるという。しかし苦労が多いからこそ「作ったものが売れていくことや、『ありがとう』、『おいしい』と言ってもらえることに達成感を感じる」。

当初は、漠然と「やらないといけない」と感じて活動を始めた。しかし活動

をしていく中で「消費者側のリテラシーの低さを問題に感じるようになった」と金子さんは語る。「例えば、有機栽培と自然栽培がどう違うのかを理解している人はほとんどいない」。少しでも理解を広めようと、食育にも力を入れる。農地の近くに住む親子を招き、農作業体験を行うほか、農業に関するフリーペーパーの作成をしている。

「カッコいい農業を若者の手で」。若者が積極的に農業へ参加する未来を思い描き、彼らは汗を流している。

(聞き手=根原直希)

UNN関西学生報道連盟

配信・発行 (C) UNN 関西学生報道連盟 (公式 HP) <http://www.unn-news.com/>
 ■共同編集室 〒532-0011 大阪市淀川区西中島 4-2-24 ダイニホンビル 4F
 (TEL) 06-6307-1315 (FAX) 06-6829-6353 (MAIL) info@unn-news.com

FOCUS は
 神戸大学ニュースネット委員会
 同志社大学 PRESS 編集部
 NEWS 立命通信社
 関学新月通信社
 阪大 POST 通信社

関西大学タイムス編集部
 神戸女子大学 K.C.Press 編集部
 京都女子大学藤花通信編集部
 京都大学 CLOCK 編集部
 の共同編集による週刊フリーペーパーです